

研究課題 (テーマ)		臨床看護師の認識と学修ニーズに基づく富山県内の 総合病院におけるユマニチュード定着に向けた課題の探求	
研究者	所属学科等	職	氏名
代表者	看護学部看護学科	講師	鷺塚寛子
分担者	看護学部看護学科	講師	青柳 寿弥
	看護学部看護学科	教授	岡本 恵里
	富山県立中央病院	看護研修科長	四十田 真理子
	かみいち総合病院	認定看護師	竹内 雅代
	富山赤十字病院	認定看護師	向井 紀子
研究結果の概要			
<p>【目的】 臨床看護師の認識と学習ニーズに基づき、富山県内の総合病院におけるユマニチュード定着に向けた課題を明らかにする。</p> <p>【背景】 本学看護学部では「ケアコミュニケーション技術教育 (ユマニチュード)」を教育課程に組み込んでいる。学生は学内での学習内容を臨地実習の場で実践したり、ユマニチュードを実践している看護師の姿から、ケア哲学の真の意味を捉えたり、ケア技術力を高めていく。そこで、臨床看護師らのユマニチュードに対する認識や実践状況、抱えている課題や学習ニーズを把握することにより、臨床現場にユマニチュードを定着するための課題を見だし、教育プログラムやサポートシステムを構築していきたいと考える。</p> <p>【対象】 本学看護学部の看護学実習を受け入れている、富山県内の3つの総合病院 (A病院・B病院・C病院) とした。</p> <p>【方法】・調査方法：無記名自記式質問紙調査 (リッカート尺度、一部は自由記述)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質問内容：①年齢等の属性、②身体拘束の実態、③ユマニチュードに関する認識の程度・実践状況・学習ニーズ、④仕事へのモチベーション、等 ・研究依頼方法：①研究協力施設の責任者に研究の説明を行い依頼する。②必要に応じて研究協力施設の倫理審査の承認を得る。③各研究対象者に研究説明書と質問紙を配布する。 ・データ分析方法：記述統計量、ノンパラメトリックな検定 (t検定・分散分析) により、属性 (所属部署、年齢・看護師経験年数による特徴、等)、ユマニチュードの実践状況や認識、仕事へのモチベーションとの関連について分析する。自由記述はテキストマイニング (Text Mining) により実態を整理する。 <p>【結果】 臨床現場におけるコロナ感染対応が落ち着く時期を見定めたくて各病院に調査を依頼することとし、2021年の年末にその目途が立ったことから諸手続きを進めた。質問紙は、常勤として各病院に所属する保健師・助産師・看護師免許所有者全員 (准看護師は除く) とし、A病院：656名、B病院：144名・C病院：387名に配布し、現在はデータ回収・集計中である。</p>			
今後の展開			
<p>今後は分析結果を基に、ユマニチュードの実践状況や認識と仕事へのモチベーションとの関連について、各調査協力病院へのフィードバックを行う。そのうえで、協力病院の臨床現場で日常的にユマニチュードが実践され、看護師と看護学生がケア哲学について話し合えるような組織風土を醸成していくための課題について検討していく。</p>			